

2019年度の事業報告書
2019年4月1日から2020年3月31日まで

特定非営利活動法人おおいた有機農業研究会

1 事業の成果

有機 JAS 認証事業においては、大分県の委託事業を活用し、「新規就農相談会」、「おおいたの有機農業者養成講座」等の取り組みにより、5 件の新規事業者を認証できました。

また、新規事業として大分県「有機野菜等広域出荷体制支援事業」(委託業務)がスタートしました。

農業祭への参加やオーガニックフェスタを開催し、大分県内の 60 件程の生産者・飲食店参加していただき、来場者も多く盛況でした。

また一般財団法人セブン・イレブン記念財団の助成で、国東市安岐町の荒木川で農福連携モデル事業も 3 年目を迎え、今年は大分県の委託事業「世界農業遺産ほ場生物多様性調査モデル事業」と合同で「田んぼの生きもの調べ野外学習会」、「田んぼの生きもの調査養成講座」などを実施しました。

その他の検査業務では「大分県版 GAP 認証制度・安心いちばんおおいた産農産物認証制度」などの事業展開を行いました。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	具体的な事業内容	(A) 当該事業の 実施日時 (B) 当該事業の 実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象 者の範囲 (E) 人数	事業費の金額 (単位: 千円)
調査・研究 普及啓発	・おおいた有機農業研究会・おおいた有機農業推進ネットワークの共同事業 ・有機農業に関する講座や研修会の開催 ・大分県農業祭への参加 ・オーガニックフェスタの開催 ・有機農業技術の研究 ・有機的管理による休耕田の復活 ・国東市安岐町荒木川農福連携モデル事業の実施 ・他県の有機農業関係者との交流 ・田んぼの生き物調べ学習会、養成講座などを開催し、「生き物認証制度」に向けた取り組みの実施	(A) 通年 (B) 大分県内 熊本県 福岡県 鹿児島県 (C) 150 人	(D) 有機農業に関心のある市民 (E) 8,000 人	5,805
有機農産物認証	・有機 JAS 農産物認証事業 有機 JAS 法に基づき、農産物や加工食品を認証する事業活動	(A) 通年 (B) 大分県他 (C) 25 人	(D) 有機農産物認証取得を希望する農家などの事業者 (E) 67 件	5,967

	・安心いちばんおおいた産農産物認証事業 大分県の農産物認証制度に基づき、減農薬・減化学肥料の農産物を認証する事業活動 ・大分県版 GAP 認証制度 3年後の JGAP への取組拡大の為のステップアップ用として認証する事業活動		(D)安心いちばん おおいた産農産物 認証取得・大分県 版 GAP 認証を希 望する農家などの 事業者 (E)11 件	
有機野菜 等広域出 荷体制支 援事業	・大分県「有機野菜広域出荷体制支援事業」 有機 JAS 認証事業者（農産物）の生産から販売に至る組織的な取り組みを行う	(A)通年 (B)大分県内 (C)15人	(D)大分県内の有 機 JAS 認証事業 者 (E)40 件	1,100

第一号議案

2019年度活動報告

2019年度は、昨年度に引き続き、当研究会の体制整備と有機 JAS 認証事業者の確保を重点に新たな取り組みへ踏み出した年でした。

特に農林水産省の登録認証機関として16年目を迎え、有機 JAS 認証数も90件ほどとなり、認証業務を適正に遂行するという社会的な責任が非常に大きくなりました。

このような状況において、研究会の財政は依然として厳しいものがあり、如何にして有機 JAS 認証業務の効率化や有機 JAS 認証事業者の増加そして有機農業の拡大を図るかが大きな課題でした。。

そのため、認証事務の合理化、改善を関係者の協力を得て進めると共に、「有機農業モデル経営指針～おおいた発有機農業スタートアップガイド」を策定して、これから新規就農を目指す人並びに経営の向上を目指す人への支援を強化し、認証事業者の確保に取り組みました。

加えて、新規就農者や有機 JAS 認証事業者の経営改善に向け「有機農業経営確立シンポジウム」「有機農産物販路開拓シンポジウム」を開催しました。

また、今年度から大分県の「有機野菜広域出荷体制支援事業」を受託して、生産から販売に至る組織的な取り組みを行うための事業を開始しました。

このような取り組みの中で、認証事業者は高齢化等で廃業者が多く、認証事業者の総数は増加しませんでした。今後有機 JAS 認証を取得しようとする事業者の掘り起こしは進みました。また、検査業務等事務の合理化・改善で経営状況はやや好転したものと思われます。

一方、大分県の委託事業を活用した「おおいたの有機農業者養成講座」や「おおいたオーガニックフェスタ」等の有機農業推進活動についても講師等関係者の協力を得て、目標を達成できたものと思われます。

県委託事業の「安心いちばんおおいた産農産物認証制度」や「大分県版 GAP 認証制度」についても、検査員の皆様のご協力によりその検査業務を適正に実行できました。

セブンイレブン記念財団事業は3年目の最終年を迎えて、当研究会の体制強化を図ると共に有機 JAS 認証事業者の確保に向けた農福連携研修会の開催や稲作の生き物認証制度に向けた田んぼの生き物調査等の取り組みができ、今後の有機農業の発展に大きく寄与するものと思われます。

1 有機 JAS 認証事業

今年度は、理事会において、認証事業者の確保を最重点に取り組むことを確認して各種の事業を行ってきましたが、高齢等で認証を廃止する事業者が多く、新規認証5事業者を確保しましたが、総数では減少しました。

実績は以下のとおりです。

(1) 2019年度末の認証事業者数

有機農産物	53事業者
有機加工食品	23事業者
小分け	9事業者
合計	85事業者（実数67）

(2) 2019年度新規事業者

有機農産物	3事業者
有機加工食品	1事業者
小分け	1事業者
合計	5事業者

(3) 2019年度廃業事業者

有機農産物	5事業者
有機加工食品	1事業者
小分け	2事業者
合計	8事業者

2 その他の検査業務（大分県委託事業等）

(1) 安心いちばんおおいた産農産物認証制度 6件

- 田中公明（宇佐市、ヒノヒカリ）
- 藤井悦夫（宇佐市、米）
- 農事組合法人新庄農地利用組合（杵築市、水稻）
- 株式会社ニシマキ（宇佐市、小ネギ）
- 有限会社弦本農園（中津市、小ネギ）
- 大分県農協豊肥事業部春人参部会（豊後大野市、春人参）

(2) 大分県版 GAP 認証制度（2018年度から実施） 5件

- 農事組合法人城村（佐伯市、米・麦）
- 農事組合法人王冠（佐伯市、米・麦・大豆）
- 大分大山農業協同組合（日田市、エノキ）
- 日田アグリ株式会社（日田市、にんにく）

●アローファーム大分株式会社（佐伯市、米・麦）

（３）臼杵ほんまもん農産物認証制度 春・秋 各４０戸

３ 大分県「有機・オーガニックの輪拡大事業」の委託業務

昨年度に引き続き下記の事業を行いました。

（１）有機 JAS 農業に関する実態調査

●有機 JAS 農産物認証事業者 ３５人

・平均経営面積 ３７３a

・主な作物 野菜２２人、米５、果樹３人、大麦若葉１人、
緑茶１人

●認証希望者等 １３人

・平均経営面積 １６２a

・主な作物 野菜１３人、米４人、果樹２人、豆類３人

（２）新規就農希望者の就農促進

「おんせん県おおいた就農応援フェア」が８月１８日、大分市ホル
トホール大分会議室で開催され、参加しました。

有機農業就農希望相談者６名、年齢は１０～５０代で、特に就農意
欲の高い人は２名でした。全体の相談者数は９６組１１２名で、各
ブースとも相談者は少なかったようです。

相談対応者：河野頼通理事、有光宏之事務局長

（３）有機農業養成講座の開催

これから有機農業を目指す人や有機農業実施中でレベルアップを目指
す人等を対象に、各種講座を大分市わさだ市民行政センター研修室等で
５回開催しました。

①６月１９日：受講者１７名、講師は鹿野翔氏、吉田寛史氏

②７月１０日：受講者１３名、講師は森岡雄平氏

③９月１８日：受講者４４名、講師は河野頼通氏、安達誠氏

井田公一郎氏、野村哲也氏、鹿野翔氏

④１０月２９日：受講者１６名、講師は佐藤通浩氏、深瀬雅子氏

⑤２月１９日：受講者３７名、講師は 赤嶺祐司氏、福山博久氏

（４）おおいたオーガニックフェスタ２０１９の開催

１２月８日（日）１０：００～１５：００、大分市若草公園で開催し
ました。

当日は前年の寒さと打って変わって穏やかな天候にも恵まれ、来場者
の数も前年より非常に多く、また会場の配置も工夫をされて、実行委
員・ボランティアの学生さんをはじめ、出展者・関係者の熱意で盛会

裏に終了しました。

来場者や出展者の皆さんへのアンケート調査の結果をみますと、有機オーガニックに関心が高く、来年以降も継続して欲しいとの要望が多かったですが、来年度は県の助成も無くなり、おおいた有機農業推進ネットワークの解散等で開催については検討課題です。

4 大分県「有機野菜広域出荷体制支援事業」の委託業務

(1) 有機野菜生産販売部会設立検討委員会の設置

主に野菜生産有機 JAS 認証事業者 9 名で委員会を設置した。委員長は ohana 本舗株式会社の赤嶺祐司氏です。

今年度 5 回の委員会を開催して、本事業の実施計画の検討、部会の規約・5 カ年計画・理念・目的等の検討を行いました。

部会の名称を「おおいた有機野菜等生産出荷体制構築会議」に決定して、5 月に設立総会を開催する予定です。

(2) 有機 JAS 認証事業者の確保育成に向けた推進活動や市町村毎の有機 JAS 認証制度説明会を開催しました。(佐伯市、臼杵市、豊後大野市の 3 カ所)

(3) 島根県浜田市の「株式会社ぐり～んは～と」を視察して、今後の部会活動等推進に資する情報収集を行いました。

ウ (4) 「有機農業者経営確立シンポジウム」「有機農産物販路開拓シンポジウム」を有機農業養成講座と合同で開催して、生産から販売に至る課題解決に取り組みました。

5 一般財団法人セブン・イレブン記念財団「2019 年度環境市民活動助成(NPO 基盤強化助成)」事業

3 年事業の最終年にあたり、NPO 法人の基盤強化事業として、人件費等の助成及び JAS 認証事業者の拡大、自然循環型農業の確立、環境保全等の取り組みを行いました。なお、この事業実施に当たっては、社会福祉法人共生荘の三角ベースや顧問の杉浦先生、関係者の皆様に多大なご協力を頂き多くの実績を上げることができました。

主な事業として

①NPO 法人の基盤強化活動として当研究会の事務局体制の整備や安岐町の「社会福祉法人共生荘三角ベース」さんの協力を得て、農福連携による研修会を開催して有機 JAS 認証事業者の拡大活動を推進しました。

②県の委託事業「世界農業遺産ほ場生物多様性調査モデル事業」と合同で、「田んぼの生き物調べ野外学習会」、「田んぼの生き物調査養成講座」

を開催し、「生き物認証制度」に向けた取り組み等を行いました。

③ 環境市民活動として、国東半島宇佐地域世界農業遺産としての条件を備えた「荒木川流域プロジェクト」を地元の関係者の協力を得て行い、「自然農学びの会」や「ハマボウフ保全活動実習」等を開催しました。

6 有機 JAS 講習会の開催

① 7 月 21 日：有機 JAS 茶講習会 中津市下郷製茶組合会議室

受講者 6 名

② 8 月 7 日：有機 JAS 講習会（農産物、加工品、小分け）

わさだ市民行政センター 2 階研修室、受講者 26 名

③ 1 月 29 日：有機きのこと講習会、大分県保険医会館会議室

受講者 14 名

④ 2 月 26 日：有機 JAS 講習会（農産物、加工品、小分け）

わさだ市民行政センター 2 階研修室、受講者 39 名

7 有機 JAS 認証検査員の育成

検査員の高齢化等に対応するために、新規の検査員確保に取り組んで来ましたが、その結果、有機農産物で新規の検査員 1 名を確保できました。また、農産物の検査員 1 名が研修を行い、有機加工品の検査員となります。

8 広報

① 広報誌「食と農おおい」を 4 回発行し、研究会やネットワーク事業の取り組み状況等を掲載して、研究会員、ネットワーク会員等に配布しました。

② 有機農業者の確保育成に向け作成した指針「おおい発！有機農業スタートアップガイド」を研究会・ネットワークの会員の皆様に配布すると共に県民の希望者にも提供しました。。

③ 各種行事の開催については、随時研究会のホームページにアップして周知しました。

9 その他

① 久光製薬株式会社「ほっとハート倶楽部」から、研究会の環境保全等の取り組みが評価され、寄付金 10 万円を頂きました。

② 会員の状況

● NPO 法人おおい有機農業研究会 37 人

● おおい有機農業推進ネットワーク 56 人

活 動 計 算 書

(単位：円)

おおいた有機農業研究会

自 2019年 4月 1日 至 2020年 3月31日

【経常収益】

【受取会費】

おおいた有研会費 105,000
ネットワーク会費 88,000

【受取寄付金】

受取寄付金 130,900

【受取助成金等】

セブンイレブン助成金 3,748,998
オーガニックの輪委託金 990,000
受取負担金 37,280
県GAP/安心いちばん委託金 917,500
生物多様性事業委託金 2,000,000
有機野菜広域出荷体制 962,500

【事業収益】

J A S 事業 収益 7,515,121
ほんまもん認証収益 245,000

【その他収益】

受取 利息 46
フェスタ出展料 218,500

経常収益 計

16,958,845 /

【経常費用】

【事業費】

(人件費)

給料 手当(事業) 4,523,700
臨時雇賃金 4,178,437
通 勤 費(事業) 109,400
法定福利費(事業) 137,495
人件費計 8,949,032 /

(その他経費)

諸 謝 金 562,400
印刷製本費(事業) 820,049
会 議 費(事業) 457,340
旅費交通費(事業) 839,010
通信運搬費(事業) 72,757
消耗品 費(事業) 394,266
水道光熱費(事業) 700
地代 家賃(事業) 324,000
賃 借 料(事業) 342,932
保 険 料(事業) 9,640
諸 会 費(事業) 34,000
租税 公課(事業) 800
支払手数料(事業) 63,199
雑損 2,220

その他経費計

3,923,313 /

事業費 計

12,872,345 /

【管理費】

(人件費)

給料 手当 240,000
通 勤 費 49,600
法定福利費 10,920
人件費計 300,520 /

(その他経費)

会 議 費 64,000
旅費交通費 70,850
通信運搬費 232,256
消耗品 費 115,592
水道光熱費 51,557

活 動 計 算 書

(単位：円)

おおいた有機農業研究会

自 2019年 4月 1日 至 2020年 3月31日

地代 家賃	53,130	
賃 借 料	16,150	
保 険 料	30,466	
リース 料	337,160	
支払手数料	4,638	
雑 費	1,722	
その他経費計	977,521	✓
管理費 計		1,278,041 ✓
経常費用 計		14,150,386 ✓
当期経常増減額		2,808,459 ✓
【経常外収益】		
経常外収益 計		0
【経常外費用】		
経常外費用 計		0
税引前当期正味財産増減額		2,808,459
経理区分振替額		0
当期正味財産増減額		2,808,459
前期繰越正味財産額		4,337,562 ✓
次期繰越正味財産額		7,146,021 ✓

2019年度 会計報告

貸借対照表

おおいた有機農業研究会
全事業所

(単位：円)

2020年 3月31日 現在

資 産 の 部		負 債 ・ 正 味 財 産 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】		【流動負債】	
(現金・預金)		未 払 金	563,336
現 金	141,828	預 り 金	17,180
普通預金	3,942,180	仮 受 金	769,340
郵便振替	3,702,709	流動負債 計	1,349,856
現金・預金 計	7,786,717	負債の部合計	1,349,856
(売上債権)		正 味 財 産 の 部	
未 収 金	614,460	【正味財産】	
売上債権 計	614,460	前期繰越正味財産額	4,337,562
(棚卸資産)		当期正味財産増減額	2,808,459
貯 蔵 品	200	正味財産 計	7,146,021
棚卸資産 計	200	正味財産の部合計	7,146,021
流動資産合計	8,401,377		
【固定資産】			
(投資その他の資産)			
敷 金	94,500		
投資その他の資産 計	94,500		
固定資産合計	94,500		
資産の部合計	8,495,877	負債・正味財産の部合計	8,495,877

財 産 目 録

おおいた有機農業研究会
全事業所

(単位：円)
2020年 3月31日 現在

《資産の部》

【流動資産】

(現金・預金)

現金	141,828
現金 (一般管理・有機JAS)	(67,360)
現金 (セブン事業)	(21,457)
現金 (荒木川事業)	(20,901)
現金 (生物多様性事業)	(17,028)
現金 (有機・オーガニックの輪拡大事業)	(10,812)
現金 (有機野菜広域事業)	(4,270)

普通預金 3,942,180

大分銀行 1 一般管理・有機JAS (1,763,292)

大分銀行 2 県GAP・安心いちばん (644,763)

大分銀行 3 セブンイレブン (205,302)

労金 (403,354)

J A (1)

大分銀行 4 有機・オーガニックの輪拡大事業 (723,988)

大分銀行 5 生物多様性事業 (201,480)

郵便振替 3,702,709

有研郵便振替 (3,659,709)

有機・オーガニックの輪郵便振替 (43,000)

現金・預金 計 7,786,717

(売上債権)

未 収 金 614,460

売上債権 計 614,460

(棚卸資産)

貯 蔵 品 200

棚卸資産 計 200

流動資産合計

8,401,377

【固定資産】

(投資その他の資産)

敷 金 94,500

投資その他の資産 計 94,500

固定資産合計

94,500

資産の部 合計

8,495,877

《負債の部》

【流動負債】

未 払 金 563,336

預 り 金 17,180

仮 受 金 769,340

流動負債 計 1,349,856

負債の部 合計 1,349,856

正味財産 7,146,021